

# FAQ

## Frequently Asked Questions: Rewriting at Kurdyla Kansai

### 1. 英文添削のご依頼について

Q1) 英文添削の依頼は、どのように申し込めばよいのですか？

A1) 電子メールでの添削をご希望の場合は、ご依頼者名、会社名/大学名、連絡先のお電話番号、ご希望納期をご記入の上、原稿ファイルを添付にて送付ください。また投稿先の情報や、部分的に添削を依頼したいなど、ご希望がある場合にはその旨表示ください。申込用紙は <http://kurdylakansai.com/downloads.htm> からダウンロードできますので、電子メールまたはFAXにて送付してください。(企業と大学用2つのバージョンがありますのでご確認ください。)

Q2) 添削原稿データは、どのようなファイルを送ればよいのですか？

A2) Wordファイル、PowerPointファイル、LaTexのtextファイル、アップルのKeynoteやPagesでの添削が可能です。その他のフォーマットでの添削が必要な場合には詳細をご相談ください。

Q3) 添削の納品はどのくらいの日数が必要ですか？

A3) 通常の10ページから20ページの場合は、4日～5日以内で納品できます。もっとも短期間で必要な場合にはその旨ご連絡ください。また、ページ数によってはご依頼された同日の納品も可能ですがこのような場合でもご依頼予定を事前にお知らせしていただく方が有難いです。

Q4) 貴社のサービスを24時間、7日間、いつでも利用できますか？

A4) 弊社の通常の営業時間は月曜から金曜日の9:00-17:00（日本時間）ですが、午後5時以降、週末のご依頼も承っております。営業時間以外でのご依頼が必要な場合には、営業時間内の午後5時までにご連絡くださいませ。また営業時間外でのメールメッセージは英語で書いていただくようお願いします。

Q5) 添削箇所はどのように表示されますか？

A5) Wordファイルの場合は、変更履歴機能で添削者が行った添削箇所（削除箇所、挿入箇所）を簡単に表示することができます。詳細はお問い合わせくださいませ。

Q6) Textファイル原稿で依頼した場合は、添削箇所はどのように表示されますか？

A6) Textファイルを添削した場合には、添削済みのTextファイルと、添削箇所が表示されているWordファイル(comparison file)と一緒に納品いたします。

Q7) 内容でわからない箇所については、添削者はどのように対処するのですか？

A7) 添削者が文面からだけではわからなかった内容がある場合には、Wordファイル内にコメントを挿入しておきます。textファイルの場合は、“comparison file”のファイル内に挿入されます。PowerPointファイル、及び、ファイル内に直接コメントが挿入できない場合にはメールメッセージ内でご依頼者へご連絡します。

Q8) 図の添削もお願いできますか？

A8) 図の添削は、原稿によっていろいろな方法があります。通常はキャプションを含み、ファイル内で直接添削を行います。もしファイル内で直接添削できない場合には、コメントを挿入したり、添削を行うことでレイアウトが壊れてしまう恐れがある複雑な図表の場合には、pdfで添削箇所をお知らせします。

# FAQ

## Frequently Asked Questions: Rewriting at Kurdyla Kansai

**Q9)** “Reference” (“Bibliography”) セクションの添削も  
お願いできますか？

**A9)** ご依頼者から添削対象外とご指示がない限りはReference (Bibliography) セクションのスペリングやフォーマットの統一性のチェックを行っております。タイトルについては、添削者がおかしいと感じた場合にはGoogleで調べます。弊社で添削が必要でない場合には、ご依頼時に対象外とご指示いただければ、ご請求カウントには含まれません。

**Q10)** 電子メール添削と手書きの紙ベースの添削と、どちらの方法がお勧めですか？

**A10)** 多くのご依頼者へは2つの理由で、電子メール添削、つまりご依頼原稿ファイルへ直接添削を行う方法をお勧めしております。1) 弊社が納品した手書きの添削部分をオリジナルのファイルへ打ち込んでいただく時間を、もっと他の大切な時間に使っていただけます。2) 添削変更箇所をタイプされる時に、間違いが起こる可能性もございます。変更バージョンは、弊社が責任をもって作成、ということで電子メールでの添削をお勧めしております。しかしながら、費用面では、紙ベースの手書き添削の方がお安くなります。

**Q11)** 再チェックのための特別なサービスはありますか？

**A11)** はい、ございます。新規で添削をご依頼された後、広範囲に渡り書き直された為に再度添削チェックのご必要がある場合にはページカウントではなく、同じ添削者が添削に必要なとした時間（15分ごと）でご請求します。通常はこの時間数でのご請求の方がページカウントよりも40-60%お安くなります。もしページカウントの方が安くなった場合には、安い方の値段でご請求いたします。

## 2. クディラアンドアソシエイトの添削システム

**Q12)** 英文添削を依頼する前に、貴社と契約する必要がありますか？

**A12)** いいえ、弊社の英文添削のご利用に、事前に契約書をお交す必要はございません。もちろん貴社で書類手続きが必要であれば、そのようにさせていただきます。

**Q13)** 依頼する書類の機密事項は守られますか？

**A13)** もちろん機密事項は守られます。お取引先から取得した企業機密、個人情報の保護および添削・翻訳原稿等のお取引先コンテンツの第三者への漏洩防止のための、当社独自のセキュリティ“S++”を設定しております。詳細につきましては下記ホームページをご参照くださいませ。

<http://www.kurdyla.com/japanese/privacyjp.htm>

弊社は社員との間で、お取引先の企業機密、個人情報、コンテンツに関する守秘義務契約を取り交わしており、これは退職後も有効です。

**Q14)** 依頼した英文添削データは、納品後はどうなるのですか？

**A14)** 通常、納品後6ヶ月はフォローアップのため保管しますが、その後、コンピュータのデータは削除し、紙ベースのデータは溶解証明書を発行する廃棄サービス会社により溶解処理されます。もしこの件につき貴社の特別なご希望がございましたらご連絡ください。

**Q15)** どんな分野の文書でも添削の依頼をできますか？

**A15)** 学術、ビジネスともどんな分野の添削のご依頼にも対応できます。よくご依頼いただく分野は、基礎科学・電子工学・レーザー・情報科学・ネットワーク、人工知能・神経科学・ロボット工学・企業広報・経済学・地理学・文学・神学・海洋学、関連分野からのご依頼が多いです。

**Q16)** 急ぎの添削を依頼する時には追加料金が必要ですか？

**A16)** いいえ、弊社の添削料金はどんな場合でも同じレートで計算されます。尚、お急ぎのご依頼に関しては事前にご予定をご連絡いただくと有難いです。

# FAQ

## Frequently Asked Questions: Rewriting at Kurdyla Kansai

Q17) クディラ社の添削料金は安くはないですよね？

A17) 他にも英語学校のようなところで弊社よりも低価格で添削を提供されているサービスも確かにございます。しかしながら弊社の長年に渡る経験、社員トレーニングとモニタリング、品質と守秘義務の保証、など弊社からご提供できます内容を考えていただければ、弊社の価格は適切だと存じます。弊社はこの業界で既に40年以上に渡り営業しております。そしてこれからも長く皆様にご利用いただきたいと望んでおります。

### 3. クディラアンドアソシエイトの添削者

Q18) 添削者はどんな人を雇っているのですか？

A18) 弊社の専任の添削者は、日本に住んでいる英語をネイティブとする人から雇っています。弊社に応募しても、実際にその中からライティングテストをパスする人はわずかです。雇われた添削者は、研修中にトレーニング用の添削作業を行う時には、本社または関西支店のドキュメント担当マネージャーにより注意深くチェックされ、実際のお客様からのご依頼を担当するようになります。この期間が過ぎても時々マネージャーが添削チェックをいれてモニタリングを行っております。

Q19) 添削者はどんな経歴・経験をもった人達ですか？

A19) 弊社の添削者は、いろいろな学術的、専門分野を携わってきた経験がある人です。ご依頼は各方面からとなりますので、添削者もある特定の専門分野のみを知っている人よりも英語のライティング能力に優れている人を雇うようにしております。添削者は、研修中に各分野の専門用語の参考文献やインターネットでのチェック方法を学んでいきます。

Q20) 以前に依頼した添削と同じような内容を依頼する時には、同じ添削者にお問い合わせできますか？

A20) もちろんです！弊社の添削者は長く弊社に居りますので、ご連絡ください。

Q21) 日本以外に住んでいる添削者も使っていますか？

A21) 弊社の外国に居る非常勤の添削者は、以前、日本で専任として働いていた者なので、弊社のトレーニングプログラムを受け、ご依頼者からのニーズを理解している者ばかりです。もし貴社のファイルデータを海外には送信できないのであればご依頼時にその旨ご連絡ください。国内の者が担当するよう手配します。

### 4. アフターサービス

Q22) 添削依頼には「アフターサービス」は含まれていますか？

A22) はい、例えば、添削時に担当者が挿入した質問やコメントに関する回答や添削担当者へ確認したい箇所などのご質問があります時には、電子メールや電話で問い合わせをしていただけるよう（メールもお電話も英語での対応となります）、無料でサービスを行っております。弊社はご依頼者にご満足いただけるサービスをご提供させていただきたいと望んでおります。

Q23) 弊社の「アフターサービス」はジャーナルやコンファレンスのエディターやレフリーへのコメントや要求への回答を含んでいますか？

A23) はい、必要であれば添削マネージャーがエディターへ手紙を書くことも可能です。また通常の添削と同じように、エディターやレフリーへ書かれた手紙を弊社で添削することも可能です。（添削料金は通常の添削レートと同じです。）

Q24) ネイティブのプロの添削者が添削したという添削証明書を発行してもらえますか？

A24) はい、必要であれば発行いたします。添削証明書のサンプルは下記サイトをご覧ください。

<http://kurdylakansai.com/downloads/ka-certificate.pdf>